

メッセージ

■ 山田町長からの メッセージ



一昨年(2023年)の3月11日の震災から、被災地山田町に対する全国各地からの温かいご支援に感謝申し上げます。

震災前の山田町の人口は19000人余りでしたが、震災後お亡くなりになった方々が約800人、転居なさった方々が1200人で、合計2000人の方々が山田町からいなくなりました。そのほか、800人位の方が住民票を移動しないで他市町村で働きに出ておられます。ですから実際に山田町に住んでおられる方々は、約16000人と推測されます。

今回の震災は規模も大きいのですが、時代背景として日本経済が失われた20年という経済低迷期でありますし、人口減少、少子高齢化というものが、大変な時期の出来事です。日本全国、特にそれぞれ地方は厳しいなかでの多くの方々の支援であります。また国からは復興交付金の配布を受け、大変ありがたく思っております。このお金が早く見えてくればと悪戦苦闘の連続です。

私は町長に就任前には山田町商工会の専務でした。発災直後「みえ災害ボランティア支援センター」の方々と知り合い、お互いに信頼関係も構築されました。多くのボランティア団体の中でも、私は山田町に多くの貢献をいただいた団体だと、声を大にして言いたいと思います。そして、今後とも山田町のことをよろしく願いいたします。

平成 25 年 2 月 吉日
山田町長 佐藤 信逸

■ 三重県知事からの メッセージ



平成23年3月11日に発生した未曾有の大災害から2年が過ぎようとしています。

みえ災害ボランティア支援センターでは、平成23年4月から継続して岩手県山田町を応援しており、平成23年度はがれき撤去などの活動、平成24年度は手芸や音楽、ハンドマッサージなどにより、被災された方々が集い、語り、笑顔になっていただくためのサロン活動を行っています。

被災地から遠く離れた三重県からできることは限られています。私たちは、大災害の記憶を風化させず、被災された方々の気持ちや暮らしに思いを寄せ続けることが大切だと思います。

また、震災の教訓やボランティア活動の経験を今後に生かすことが私たちの使命でもあります。三重県で災害が起こったときに備え、県民の皆さんとともに防災・減災対策に取り組んでいきたいと思っております。

みえ災害ボランティア支援センターは、「被災された方々を応援したい」という多くの団体、NPO、ボランティアの皆さんに支えられています。ご協力いただきました皆さんに感謝申し上げますとともに、今後の支援活動につきましても引き続きご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成 25 年 2 月 吉日
三重県知事 鈴木 英敬